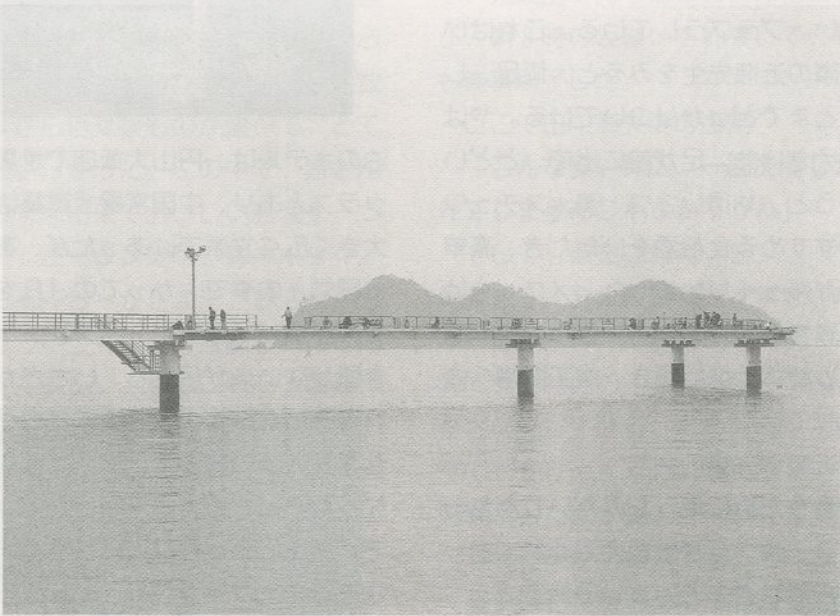


光市医師会報

平成2年12月号

No. 218



冬 晴

光市医師会

3日間、夢のファーストクラス

梅 田 馨



ワイワイ言いながら目的の台湾に着いた。一度は乗ってみたかった飛行機のファーストクラス。シートがとても大きくて楽。イギリス系の航空会社のためか、床に足がとどきにくい。ブラブラしている。これはいかんと、隣の近藤先生をみると、両足、しかもかかとまでどっかりついている。やはり、尻の大きい分、足が前に出て、とどいたのだろうと、納得しつつ、美人スチュワーデスのすすめる食前酒をいただき、豪華なお食事がゆっくり始まった。メニューはいわゆる洋食のフルコース。最後のデザートの際は、機体は前に傾き、中正空港へ向かって下りていた。

ここで近藤御夫妻の会話

「メシ食うために乗ったみたいじゃね」

空港には、陳さんが出迎えてくれており、いよいよ台湾珍道中の始まりである。

今回の参加者は、前田、藤原、石津先生の奥様、田中・近藤先生御夫妻と我々夫婦の計9名である。徳山泉原病院の石津先生の奥様は前田先生の奥様の姉上ということもあり、今回御無理言って参加していただいた。今回、滞在中の足は、フォードのゆったりしたマイクロバスで、ちょうど9名がゆっくりくつろげ、仲の良い家族旅行という、いい感じだった。

午後は、台北おさまりの観光コース、総統府、龍山寺、中正記念堂、忠烈祠、孔子廟をみて、早目にホテル入りした。今回2

泊のホテルは、円山大飯店で世界でトップクラスとあり、中国宮殿式建築はさすがに大きく広く立派ではあったが、あとで聞くと国営との事で、かつてのJRを思わせるものがあり、サービス、メンテナンスの行き届かない点が目立ち、いささか期待はずれの感じがした。約2時間各自休憩のあと、台北一の海鮮料理の店、新同楽にて夕食となった。どれも大変おいしかったが、なかでも一風変わったフカヒレ料理、エビの水炊き、北京ダック風にして食べるローストチキン、汁かけチャーハンが印象に残っている。夕食後、“フーパーナイトショー”（歌、おどり、手品、サーカス等）を楽しみ、夜中にホテルに帰り、バタンキュー。

ここで幹事夫婦の会話

「今度のツアーには、夜の街をフラフラ
出歩く人がおらんから楽じゃね」

翌11月3日

9:30分という普通のツアーでは考えられないくらい朝の出発をゆっくりにし、ロビーに集合してみると、俄然、女性軍がはざんでいる。それもその筈、本日は一日中、

あらゆる店のショッピングなのだ。午前と午後の記憶がうすれてしまっているが、貿易センタービルを皮切に、免税店、家具屋、アメ横を思わせる中華商場、現地の人が行かないデパート、そしてコピー商品の専門店等をまわった。

昼食は、本場の飲茶で、店内をいくつかのワゴンがまわり、自分の好きなものを一皿ずつ取って食べるというもの。今まで、香港でもシンガポールでも、いつも5品ぐらいのおしきせの飲茶だったが、今回は無数の料理の中から色々なものが選べて、とても楽しくおいしかった。この中で、皆さんの自宅でもすぐ出来ておいしい料理を一つ。トーフ半丁、ピータン $\frac{1}{2}$ ケ、青ネギ少々。これをぐちゃぐちゃがきまで、醤油をたらして食べるというもの。一度騙されたと思って、試して欲しい。私はこれを2皿食べた。



た。

ホテルに帰り小休止ののち夜は、今回旅行のメインディナーの満漢宴席である。5000年の歴史に育まれた宮廷料理というだけに、部屋、調度品、衣装共に豪華絢爛であり、胡弓の演奏を聞きながら、新しい料理が出るたびにドラが鳴って、中国語で料理の説明するというもの。プタの丸焼き、フカヒレ、ツバメの巢、スッポン料理等々。おいしいことはおいしいが、足のあるもの

は、机以外何でも食べるという中国人の根性に脱帽しつつ、何が出てくるやらヒヤヒヤした。幸いなことに、今回は日本人向けのもので、ゲテものが出なかったので助かった。この日は、ホテルに帰るとすでに10時頃だったが、3夫婦そろって地下へ行き、24時間で出来る背広を作った。残念ながら翌日はもう、朝ホテルを出発してしまうので、完成品を持ち帰ることは出来なかったが、朝8時の仮縫いを約束して、11月3日も無事終了した。

ここで田中御夫妻の会話

「こんな安い背広、一回洗濯したら、とけてしまうんじゃないかならうね」

そして、最後の11月4日

朝食後3人分の仮縫いをすませ、ロビーへ。本日は午前中、故宮博物館見物である。世界4大博物館の一つであり、中国の歴史の長さを感じさせる。約2万点を2時間たらずで、かけめぐった。私にはちょうどよい時間だったが、他の方々は、もっともっとじっくり見たい様子であった。

昼食は台湾最後の中華料理で、北京料理であったが、すでにみな食傷気味で、北京ダックを始めとし、やや不人気であった。

ここでかしまし3人娘達の会話

「あーあ、明日から又、メシ炊き婆さんか、わびしいのオ！」

かくて無事、この旅行も何もなく終了しそうであったが、最後におこったハプニングは、飛行機が1時間おくれたこと。そのために、最終の新幹線に乗れず、みな博多から自宅までタクシーとなり、名前の通り、すべて「ファーストクラスの旅行」で終了した。

11月度月間行事・会議

日	曜	行事・会議	場所	出席者
2~4	金~日	医師会旅行		9名
8	木	地域医療連携推進事業モデル打合わせ会	徳山医師会館	福本、丸岩
13	火	定例理事会	光市医師会館	6名
15	木	郡市医医事紛争担当理事協議会	県医師会館	丸岩
16	金	心電図研究会	光市立病院	12名(光市医師会)
18	日	研修会バス運行 (第17回生涯研修セミナー)	県教育会館	15名(光市医師会)
16~20	金~火	国保審査委員会	山口市	富恵
21	水	第1回地域医療連携施設運営委員会	徳山医師会館	福本、丸岩
22	木	山口県学校保健連合会理事会	山口県庁	福本
22	木	周南三市医師会役員協議会	下松市 ホテル 幾久屋	福本、近藤、吉村
22	木	周南地域保健医療対策協議会	徳山保健所	丸岩
27	火	医学研修会・11月度月例会	光市医師会館	16名
29	木	光市就学指導委員会	光市役所	福本、藤村

定例理事会

11月13日(火) 午後7時30分~

光市医師会館(光商工会議所)

(出席者) 福本会長、丸岩・近藤・前田・
藤原・吉村各理事

議 題 (報告・協議事項)

- 1) 定例代議員会報告 (福本会長)
- 2) 出務手当の件 (福本会長)
「出張旅費及日当の請求方法」(申し合

せ事項) がまとまる。

- 3) 校医変更の件(来年4月より)

[浅江小] 河内山清先生→佃先生

[三井小] 佃先生→河村(裕)先生

[やよい幼稚園] 佃先生→河村(裕)先生

[虹ヶ丘幼児学園] 守友先生→佃先生

以上の変更の希望が出る。まず当事者の意向を聞き、変更の可否を決める。

4) 忘年会の件

12月13日(木) 午後6時40分より 於金久

5) その他

イ) 第17回県医師会生涯教育セミナーの
バス運行の件

ロ) タクシーチケット利用の件

ハ) 周南三市医師会役員協議会の出席者
・議題の件

○来年度医師出務報酬等の要望につ
いて

○学校教師の検診の件

○要望書の件—各市の要望に大きな違
いがあれば、三市共同として要望書
を出す意味がないように思えるが。
その件に対して他市の意見。

ニ) 地域医療連携施設運営委員会準備会
の件

ホ) 学校医研修会・学校保健研修会の件
下記のような案がまとまる。

日時—平成3年2月14日(木)

午後1時20分～4時

場所—光市民ホール

講師・演題

○下関市立中央病院 永田良隆先生

「現代の食生活と子供の健康管理」

○新南陽市原田病院 原田忠明先生

「こどもの心の病と親子関係」

主催を光市医師会から光市医師会学校
医部会にする。

ヘ) 福祉事務所より生保の精神科の嘱託
医を藤村先生に依頼したい旨の申し出
がある(来年4月より)。—了承

ト) 光市医師会事務職員の保険加入の件。

周南三市医師会役員協議会

11月22日(木) 午後7時～

於 ホテル幾久屋(下松市)

(出席者)

光市医師会—福本、近藤、吉村

徳山医師会—永末、光永、石川

下松医師会—西辻、藤原、松野、岡藤、
沢、荻野、野見山

(議 題)

平成3年度自治体に対する要望について

イ) 平成3年度予防接種等報酬要望額
各市より要望額の説明がある。

下松—岡藤、光—福本、徳山—光永、

ロ) 平成3年度学校医等報酬要望額。

各市より要望額の説明がある。

下松—野見山、光—福本、徳山—石川、

※ほとんどの項目で要望額が合意した。

合意ができにくい上に協議の中で一番論
議を呼んだ項目は、学校職員定期健康診
断の方法と料金に関する事であった。健
診方法が三市三様であり、徳山医師会で
は検査を徳山医師会病院でおこなう。下
松医師会は学校医部会の管轄下で検査を
一括同一検査施設へ依頼する。光市医師
会では周知の通り血液のみを検査し、各
個人でおこなっている。各市のシステム



や事情等が異なるため統一見解は困難である。

他の二市では検査は医師会主動でやっているが、光市の現在の方法は再検討の余地があるのではないかという印象を受けた。徳山医師会より新しい要望項目が提出された。出務医師が業務補助者を同行した場合に出務手当を請求する。糞便判断料をもうけるの2項目である。

医学研修会

11月度月例会

11月27日 午後7時30分～

光市医師会（光商工会議所）

1) 医学研修会

イ) 学術研修ビデオ

○病診連携の条件

○脳死とは

○WHOの予防接種拡大計画

ロ) 医事紛争報告 (丸岩理事)

○年度別医療事故・紛争発生状況

○医事紛争研究会の報告

○山口県の今年度前半の医事紛争発生状況具体例

2) 報告事項

イ) 第114回定例代議会報告

ロ) 忘年会の件

ハ) 医学講演会の件

ニ) 胃ガン集団検診後の精密検査受託医療機関の件

ホ) 骨髄バンクの件

ヘ) 普賢堂改修の寄進の件

心電図研究会 (第29回)

光市・下松医師会共同

11月16日(金) 午後7時30分～

光市立病院

演題「心電図の読み方」

講師 徳山中央病院 河野隆任先生

症例

- 1) 62才・♂、(主訴)呼吸困難
Ⅲ・aVFのQ、ST上昇がみられる。
(V₅・V₆・aVL ST低下)(診断)
下壁梗塞、3日後再発作
- 2) 31才・♀、(主訴)頻拍
甲状腺機能亢進による心房細動
- 3) 54才・♂、(主訴)胸部圧迫感発作
運動負荷でV₃V₄V₅のTの増高がみられ
要注意であったが、後日心筋梗塞を発症
- 4) 52才・♂、(主訴)胸部感発作
運動負荷でTの増高がみられた心筋梗塞
の症例
①②赤崎先生症例、③④河野先生症例

「教育委員会選奨」受彰

福本寿雄先生

富恵 哲先生

中村国雄先生

中村琢美先生

11月5日、市役所において、上記4先生が「児童生徒の健康管理や衛生思想の普及に貢献」された功績のため、表彰を受けられました。お祝い申し上げます。

出張旅費及日当の請求方法

(申し合わせ事項)

H2. 10. 9

光市医師会出張費規則に基づいて実費を支給する場合、種々の事例があるが、事務手続きの簡素化の観点から、以下のように申し合せをしたい。

〔1〕光市内、下松に出張する場合、原則として医師会のチケットを利用するので支給(請求)しない。(理事会や下松医師会との協議会等)

〔2〕市外に出張する場合(下松を除く)実費相当分を支給(請求)する。

徳山市内 片道の場合 3,500円

往復の場合 7,000円

山口市内 片道の場合 7,500円

往復の場合15,000円

その他の地域については理事会で決定する。その場合原則として、運賃、タクシー一代等の実費とする。

但し、往復共に医師会チケットを使用した場合は支給(請求)しない。

〔3〕医師会のチケットを一部利用した場合は、残りの旅程の実費相当分を支給(請求)する。但し光市内のみの医師会のチケットを利用した場合には、その限りではない。

〔4〕宿泊を必要とする出張の場合は、県内、県外を問わず山口県医師会旅費規程に準ずる。但し出張先(県医を含む)より運賃、日当、宿泊料が出る場合は支給(請求)しない。旅費については、上記〔2〕〔3〕の規則を適用する。支給する場合は、理事会の承認を要する。

〔5〕事務局員の出張旅費に関しては、理事会に於て決定する。

＝ 編 集 後 記 ＝

選挙の宣伝カーマがいに「お願いします、お願いします(原稿を)」と連呼しているうちに平成2年も終りが近づいてまいりました。

釣には全く興味はないのですが、12月の日曜日に散歩を兼ねてフィッシングパークへ行って見ました。大勢の太公望がのんびりと釣糸に夢を託して楽しんでおりました。初冬とは思えないほど波風のない静かな海辺でした。

市教育委員会選奨を受けられた4人の先

生方、お目出とうございます。なお先生方の写真が掲載できませんでした事を、お詫び致します。

今月号は梅田先生に台湾旅行記を書いていただきましたが、大変美味しい旅だったようです。ご寄稿有難うございました。

間もなく平成3年を迎えます。会員の皆様方の「来る年」が波風のない静かな年でありますように……。来年も宜敷くお願い申し上げます。(吉村)

